**建設プロジェクト報告テンプレート**

|  |
| --- |
| **プロジェクト タイトル** |
| メンケン大学建設 |
| **モデレーター** | **作成日** |  |
| Valerie Jackson | 3 月 19 日  |  |
|  |  |  |
| プロジェクト概要 |
| プロジェクトの当初の目標と目的は何でしたか? |
| プロジェクトの当初の目標は、建築家の仕様に従って3つの主要な講義ホールを建設することでした。これらの講義ホールは、新しい大学のキャンパスの一次建設です。これら3つの講義ホールを中心に、続いて大学構造を構築します。 |
| プロジェクトの成功の当初の基準は何でしたか?  |
| プロジェクトの成功の当初の基準は、コンクリートの壁、カスタムの石細工など、設計図で指定されたブルータリズム建築様式で3つの環境に優しい講義ホールを建設することでした。 |
| プロジェクトは当初の期待どおりに完了しましたか? |
| はい。ただし、3月を通して大雪が降ったため、完了は2か月遅れで終了しました。 |
| その他のコメント |
|   |

|  |
| --- |
| プロジェクトのハイライト |
| 大きな成果は何でしたか? |
| 建築家の仕様に従って、環境に優しいオープンエアの講義ホールを3つ建設するという建築家と大学理事会の期待に応えることができました。これは、可能な限りカスタムの石細工、リサイクル木材、その他の環境に優しい材料を使用することを意味します。 |
| どのような方法がうまく機能しましたか? |
| 私たちは早い段階で建築家と大学の理事会と会い、作業を開始する前に、スタッフと私が期待事項、構造上の課題、環境基準、内装と外観の審美的仕様を理解したことを確認しました。 |
| プロジェクトの達成に何が役立ちましたか? |
| 最初から建築家とプロジェクト マネージャーの両方と絶えず連絡を取り合うことで、ロジスティクスと予算に合わせて順調に進めることができました。さらに、建築を学んだプロジェクト マネージャーがいることは非常に役に立ちました。PMは、建築家のより困難なデザインの一部を伝えるのを手伝うことができました。 |
| その他のコメント |
|   |

|  |
| --- |
| プロジェクトの課題 |
| プロジェクトのどのような要素がうまくいかなかったのですか?  |
| 3月の不測の大雪の後、2番講義ホールで排水問題を発見し、擁壁の排水インフラを調整する必要がありました。 |
| 改善が必要な特定のプロセスは何ですか? |
| スケジュールを調整できるように、プロセスの早い段階で外装設計の職人を巻き込む必要があります。そうすることで、準備ができたときに、その職人にアクセスできるようになります。 |
| これらのプロセスは今後どのように改善できますか？ |
| * 私たちは、プロジェクト計画プロセスの早い段階で外装設計の職人を巻き込むことができます。
* 下請け業者にできるだけ早く契約を結んでもらい、作業をタイムリーに行えるようにすることができます。これにより、プロジェクトのその他の (共依存の) 側面に関するスケジュールを維持できます。
 |
| 主な問題領域 (予算編成、スケジューリングなど) は何でしたか? |
| * 外装設計の職人との契約締結やスケジュール調整が大変でした。
* 2番講義ホールなど、建物内の排水に関する調査を増やす必要があるため、このような問題が今後予測できます。
 |
| 技術的な課題をリストアップします。 |
|   |
| その他のコメント |
|   |

|  |
| --- |
| プロジェクト後のタスク/今後の考慮事項 |
| 継続的な開発とメンテナンスの目標をリストアップします。 |
|   |
| 完了する必要があるアクションは何であり、それを完了する責任は誰にありますか? |
| * Jane Williamson は、今後 4 日間で 3 つのホールすべてに対する外装木材の染色を完了します。
* John Liden は、3 番講義ホールのロビーで寄木細工を完成させます。
 |
| 未解決のプロジェクト項目を追加してリストアップします。 |
|   |
| その他のコメント |
|   |

|  |
| --- |
| 計画フェーズ |
| **教訓** | **達成?** | **コメント** |
| チームはプロジェクト計画とスケジューリングを徹底的に文書化しました。 | Y/N (はい/いいえ) | 主要な問題領域については、上記を参照してください。 |
| プロジェクト スケジュールには、プロジェクトのすべての要素が含まれています。 | Y |   |
| すべてのタスクを明確に定義しました。 | Y |   |
| 関係者は計画プロセス中に十分な意見を述べました。 | Y |   |
| 要件を収集して明確に文書化しました。 |  |   |
| 基準は、プロジェクトのすべてのフェーズで明確でした。 |  |   |
|   |  |   |
|   |  |   |
|   |  |   |
|   |  |   |
| その他のコメント |
|   |

|  |
| --- |
| 実行 |
| **教訓** | **達成?** | **コメント** |
| プロジェクトは当初の目標を達成しました。 | Y |  |
| 発生した予期しない変更は、管理可能な頻度と強度でした。 | N | 主要な問題については、上記を参照してください。 |
| チームは、プロジェクト ベースライン (時間、範囲、コストなど) を慎重に管理しました。 | Y |  |
| 基本的なプロジェクト管理プロセス (リスクと問題の管理など) は効率的でした。 | Y |   |
| チームはプロジェクトの進捗を正確で整理された方法で追跡し、報告しました。 | Y |   |
|   |   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |
| その他のコメント |
|   |

|  |
| --- |
| 人的要因 |
| **教訓** | **達成?** | **コメント** |
| プロジェクト マネージャーが適切な関係者に報告しました。 | Y |   |
| プロジェクト管理は効果的でした。 | Y |   |
| プロジェクトチームを適切に組織し、人員を配置しました。 | Y |  |
| プロジェクト マネージャーとチームの両方が適切なトレーニングを受けました。 | Y |  |
| チームメンバー全員が効率的にコミュニケーションを取り合いました。 | Y |  |
| すべての機能分野が効果的に連携しました。 | Y |   |
|  |  |  |
|   |   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |
| その他のコメント |
|   |

|  |
| --- |
| 全体 |
| **教訓** | **達成?** | **コメント** |
| 当初のコストの予測は正確でした。 | Y |   |
| 大学の建築目標を達成しました。 | Y |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| その他のコメント |
|   |

|  |
| --- |
| プロジェクト終了の受け入れ |
|  |  |  |
| **プロジェクト マネージャーの名前** | **日付** | **プロジェクト マネージャーの署名** |
|   |   |   |
|  |  |  |
| **スポンサー名** | **日付** | **スポンサー署名** |
|   |   |   |

|  |
| --- |
| **– 免責条項 –**Smartsheet がこの Web サイトに掲載している記事、テンプレート、または情報などは、あくまで参考としてご利用ください。Smartsheet は、情報の最新性および正確性の確保に努めますが、本 Web サイトまたは本 Web サイトに含まれる情報、記事、テンプレート、あるいは関連グラフィックに関する完全性、正確性、信頼性、適合性、または利用可能性について、明示または黙示のいかなる表明または保証も行いません。かかる情報に依拠して生じたいかなる結果についても Smartsheet は一切責任を負いませんので、各自の責任と判断のもとにご利用ください。 |